

平成24年度  
実施事業

事務事業名	普通保育所運営事業
-------	-----------

区分	No	名称
章	1	やさしさと共生するまち
節	1	安心して子どもを生み育てられるまちをつくる
施策	1	子育ての不安と負担の軽減
小分類	3	子育て環境の整備
主要な施策	1	①保育所、幼稚園における保育・教育の充実及び環境の整備
事務事業番号	004	事業開始年度 昭和 28 年度 事業終了年度 平成 - 年度 会計種別 一般会計

部 名	保健福祉部	グループ名	子育てグループ
-----	-------	-------	---------

事務事業の概要 《Plan・Do》

目 的	(事務事業の実施目的を具体的に記入してください)
	保護者の家庭と仕事の両立を支援することにより、安心して子どもを生み育てる環境をつくり、児童の健全育成に資することを目的とする。
事業内容及び実績	(事業内容及び平成24年度の実績を具体的に記入してください)
	<p>身心の健全な発達・発育を促すため、各地域ごとに保育所を設置し、クラス年齢別により保護者に代わって児童の保育を実施する。</p> <p>▼設置保育所：富士、鷺別、栄町、幌別東 4か所 ▼定員：各保育所120名</p>
今後の方向性	(次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください)
	保護者が安心して子どもを預けられるよう保育に取り組んでいく。
根 拠 法 令 等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください)
	児童福祉法、登別市保育所条例、登別市保育実施条例

事業費（財源内訳）の推移 《Plan・Do》

区 分		単位	H23年度 決算	H24年度 決算	H25年度 当初予算	H26年度 見込	H27年度 見込
国庫支出金	名称	千円					
道支出金	名称	千円			86	86	86
地方債	名称	千円					
その他	名称	千円	15,732	18,681	19,303	19,303	19,303
一般財源	名称	千円	45,548	45,060	48,997	48,997	48,997
事業費 合計			61,280	63,741	68,386	68,386	68,386

指標の推移 《Check》

区 分		単位	区分	23年度 実績	24年度 実績	25年度 目標	26年度 目標	27年度 目標
成果 指標	① 入所児童数（4箇所計）	人	目標値	480	480	480	480	480
			実績値	396	397			
	②		目標値					
			実績値					

比較		《Check》
平成24年度実施以前又は実施中に見られた課題、問題点等	左記の解決に向け行った取組や対策、工夫等	
<p>正規職員の減により、保育業務を担う保育士の確保に苦慮している。</p>	<p>保育業務に支障をきたさないよう人事に働きかけてきた。また、平成25年度からは、各保育所へ保健師等（臨時職員対応）の配置が出来るよう要望した。</p>	

担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可） 《Check》

1. 事務事業の妥当性について		
市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？	<input type="radio"/> ① 市が主体に行うべき事業である <input type="radio"/> ② 民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である <input type="radio"/> ③ 国、道、他団体等との連携や広域化が可能である <input type="radio"/> ④ 国、道、民間等の事業と重複・類似している	<p>判断理由及びその他所見</p> <p>児童福祉法に定められた事業で、子育て支援の施策に欠かせない。</p>
2. 事務事業の必要性について		
市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？	<input type="radio"/> ① 市民、団体等から具体的な要望がある <input type="radio"/> ② 市民アンケートの結果から必要性が高い <input type="radio"/> ③ 社会情勢、地域事情等から必要性が高い <input type="radio"/> ④ 市民の大部分が関連することから必要性が高い	<p>判断理由及びその他所見</p> <p>本事業の入所児童数からみても保護者からの要望が多く、必要性の高い事業と考えられる。</p>
3. 事務事業の効率性について		
事業内容とコスト(事業費)のバランスがよい効率性の高い事業ですか？	<input type="radio"/> ① 低予算、少労力で高い効果をあげている <input type="radio"/> ② 市で実施するほうが民間委託より効率性が高い <input checked="" type="radio"/> ③ 多額の経費や労力を要するがやむを得ない <input type="radio"/> ④ 将来的に効率性を向上できる	<p>判断理由及びその他所見</p> <p>国が定めた人的等の最低基準があるため、人件費等が占める割合が高いが、保護者の支援や児童の健全育成のためにはやむを得ない。</p>
4. 事務事業の成果について		
目的を達成するための成果はあがっていますか？	<input type="radio"/> ① 成果指標の向上が見られる <input checked="" type="radio"/> ② 市民、団体等の声から成果を感じられる <input type="radio"/> ③ 目に見える形で成果があがっている <input type="radio"/> ④ 成果の把握は困難である	<p>判断理由及びその他所見</p> <p>本事業の目的である、保護者の両立支援及び児童の健全育成という点に着目すれば、成果があがっていると考えられる。</p>

①担当グループによる評価 《Check》

<b>維持</b>	<p>左記の評価を選択した具体的な理由(根拠)</p> <p>本事業は、「児童の健全育成」を目的とした児童福祉法の根幹をなす施策のため、検討の余地なく、引き続き、必要な事業である。</p>
-----------	--

②行政評価会議による評価 《Check》

<b>維持</b>	備考
-----------	----

③総合的な評価（当該事務事業の方向性） 《Action》

<b>維持</b>	備考
-----------	----

〔評価区分〕

- ◆拡大（事務事業の目的を達成するために事業の規模や経費の大幅な変更が必要な事業）
- ◆維持（事業内容の根幹にかかわる部分については変更せず、不断の点検・検証による効率的な経費の活用や軽微な見直しを行い、継続的に実施する事業又は、事業計画等で予め年次的に実施する事業内容等を定めており、実施年度によって経費や実施個所等に変更が生じる事業）
- ◆改善（当該事業の目的を達成するために、現状の手段や経費、事業の方向性等、事業の根幹に関わる部分について見直す事業）
- ◆休止（暫定的に休止する事業）
- ◆廃止（事業の開始当初から目指していた成果が得られたなど、目的が達成された事業）
- ◆終了（事業の開始当初から予定していた事業期間が終了した事業）